平成18年豪雪における消流雪用水導入事業の効果

消流雪用水未整備箇所の状況


大蔵村清水地区

家屋等の除排雪に、
多大な労力が必要となります。


大蔵村清水地区

消流雪用水が不足しているため
雪が詰まってしまいます。


大石田町横山地区

一台通るのがやっとの幅しか
車道が確保できません。

消流雪用水整備箇所の状況


大石田町大石田地区

住民たちが協力して
排雪作業を行っています。


大石田町大石田地区

道路は十分な幅が確保され、
安全性が高まります。


真室川町新町地区

町の中心部でも除雪が行われ、
町の活性化に繋がっています。

もしも大石田地区・真室川地区に
消流雪用水が導入されていなかったら・・・

大石田地区

約23600台
排雪量：ダンプトラック10t積み換算

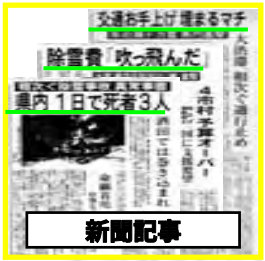
約78百万円
排雪費用

真室川地区

約6900台
排雪量：ダンプトラック10t積み換算

約19百万円
排雪費用

が今年の冬必要でした・・


交通お手上げ 埋まるマチ
除雪費「吹っ飛んだ」
県内1日で死者3人
新聞記事

今年度の雪は「平成18年豪雪」

今年は気象庁が積雪を観測している全国339地点のうち23地点で
年間の最大積雪記録を更新するなど、全国的な大雪に見舞われた。

～雪国のより良い生活環境を目指して
平成18年度も消流雪用水導入事業に取り組んでいきます～